

寒剤見小校長室だより 🥻 🦨



| **151 周年** 2025. 11. 18 No. 45 松山市立潮見小学校 校長 池川 仁

人権参観日·人権集会

11月15日(土)に人権参観日・人権集会を行いました。大勢の保護者の皆様 にご参観いただきありがとうございました。

人権参観日では、やまぶき学級は、パラリンピックで有名 になった「ボッチャ」をみんなで楽しむことで、友達と一緒 に活動することのよさを味わいました。1年生から6年生ま では全て道徳科の授業を行いました。1年生は、個々のよ さ、長所に気付く活動を行いました。2年生は、困っている

人、弱い立場の人に対して温かく接 🌉 することの大切さを学びました。3 年生は、自他の特徴をプラスの方向 で見つめ直して、自己肯定感を高め ました。4年生は、「ありがとう」

を伝えることの大切さ、助け 合いの重要性を学びました。 5年生は、自分とは異なる意 見や立場の人も尊重すること について話合いました。6年 生は、「しあわせ」について 考え、「多様なしあわせ」が あることに気付きました。









前号でお伝えしましたが、人権とは、「全ての人々が生命と自由を確保し、そ れぞれの幸福を追求する権利」あるいは「人間が人間らしく生きる権利で、生ま れながらに持つ権利」(法務省人権擁護局「人権の擁護」より)のことです。今回 学習したことは、どれも「人権」について考えるきっかけになったのではないか と思います。私たち一人一人には人権があり、それを互いに尊重していくこと が、よりよい社会につながると考えています。今後の社会の担い手となる子ども たちが、より高い人権意識をもってよりよく生きていくことを期待しています。

人権参観日の後は、人権集会を行いました。最初 に、全校で「友だちはいいもんだ」を歌いました。子 どもたちには、歌詞の中にある<u>「みんなはひとりのた</u> めに、ひとりはみんなのために」活動できる人をめざ して育ってほしいと思います。

次に人権標語の発表を行いました。各学年で選ばれ た標語は次頁に掲載しています。



それぞれの標語の中に、人権 に対する思いが表れています。 子どもたちには、これらの標語 を心に留めて、今後の考え方や 行動に生かしてほしいと思いま す。

人権集会の最後は、講演会。 濱田斉子さん、濱田晋太郎さん をお招きして「自閉症 それが 【各学年の人権標語(上から6年生)】
《かさしさを 分け合ううれしさ これからも
《作ろう 「ちがい」を認め合える社会を
《だれかやる そんなだれかに ぼくがなる
《一人ひとり 心ひらけば はながさく
《聞けてよかったあなたの本心
言えてすっきりわたしの気持ち

必あいさつを かわせばすぐ ともだちさ

どうした!」という演題でお話をしていただきました。晋太郎さんは、潮見小学校のやまぶき学級の出身で、現在、松山空港で勤務をされています。これまでの生い立ちを基にしながら、母親の斉子さんが、相手をよく知り、互いのよさを大切にすることの重要性を伝えてくださいました。晋太郎さんは、自身の得意なことや頑張ってきたことを楽しく伝えてくださいました。



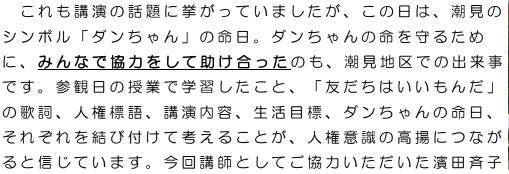
子どもたちは、真剣に、時には笑顔で話を聞いていまし



た。講演後の晋太郎さんの回りに は人だかりができて、子どもたち が握手を求めていました。講演の

内容を子どもたちなりに理解した結果ではないかと思います。 11月の生活目標は「言葉づ

かいを整えよう」です。講演内容の中にも、困っている人に対して<u>「大丈夫?」「手伝おうか?」</u>という声掛けの重要性が伝えられていました。11月の後半は、これまで以上に思いやりのある、温かい言葉遣いが聞かれる潮見小学校であってほしいと思います。





さん、晋太郎さん、本当にありがとうございました。また、保護者の皆様も多数 講演会に残っていただきありがとうございました。ご家庭でも、参観日のことを きっかけにしてお話をしていただけるとありがたいです。